

# 2021年初夏、新クリニック完成予定 快適性を高め、より受診しやすい環境へ



2021年6月に完成予定の新クリニック完成予想図。最新の設備を整え、地域医療の拠点としての役割を担う。豊富な経験をもつ内視鏡専門医が、病気の早期発見、見逃しのない検査を心かけている

開業から40年を迎える「いし胃腸科内科」は、建物の老朽化などを背景に建て替え工事が進められている。新クリニックの完成は2021年6月の予定で、診療は現在、敷地内の仮診療所で行っている。「建て替えにより、地域医療の拠点としてさらに質の高い医療の提供を目指しています。今後皆様のかかりつけ医として、貢献し続けられるよう努めてまいります」と、石忠明院長は話す。

胃腸科・内科として、特に消化器疾患の早期発見に力を入れ、内視鏡による、苦痛の少ない検査に努める石院長。胃カメラは経鼻内視鏡、大腸カメラはおなかの張りを少なくする二酸化炭素送気を導入。鎮静剤も使用しながら、患者の希望に応じて胃カメラ・大腸カメラ検査を行っている。「内視鏡検査は一般的に苦痛をとまなうという印象を強く持たれています。が、苦痛なく気軽に受けられる検



- ①「日々の体調を整え、健康な身体を守り維持することが大切です。健康長寿を目指し、皆さまとともに意識を高めていきたい」と話す石院長
- ②最新機器を導入し、精密な検査を実施する。鎮静剤を用いた安全で楽な検査、胃カメラと大腸カメラの同時検査も可能だ
- ③腹部エコーで肝臓、胆のう、腎臓、すい臓に異常がないか、早期発見に努める

査であると認識いただけるよう、医療技術の向上にも努めています」と石院長。胃潰瘍やピロリ菌感染性胃炎、特定疾患である潰瘍性大腸炎などの治療にも積極的に取り組み、大腸ポリープの切除は日帰りで実施。日帰り手術が難しい場合や、胃・大腸がんについては、提携病院との連携で安心の体制も整っている。

さらに、日本抗加齢医学会専門医の資格を持つ石院長は、アンチエイジングという観点から「健康長寿」を目指した、最適で最新の医療の提供にも力を入れる。「狭心症や心筋梗塞の原因となる動脈硬化も加齢にともなう変化の一つです。禁煙外来も肺疾患予防はもちろん、喫煙はシワやシミなど美容にも影響を与えます」と石院長。病気の予防とアンチエイジングを組み合わせたトータルケアや、骨粗しょう症治療、プラセンタ注射、サプリメント指導も好評だ。

## 胃腸科・内科

医療法人社団

## いし胃腸科内科

診療時間/  
月・水・木 8:30~12:00 13:00~17:00  
火・金 8:30~12:00 13:00~19:00  
土曜 8:30~12:00  
休診日/日曜・祝日  
最寄りアクセス/  
地下鉄南北線南平岸駅から徒歩3分

☎011-813-1220

札幌市豊平区平岸3条14丁目1-5

<http://www.ishi-ichouka-naika.com/>



理事長・院長  
石 忠明氏

岩手医科大学卒業。日本内科学会総合内科専門医。日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本抗加齢医学会各専門医。日本医師会認定産業医